

通信「ちえふる」5月号

大谷翔平が読んだ1冊の本について

1 大谷翔平は読書家

先のWBCで大活躍し、優勝に大きく貢献した大谷翔平選手は、読書家であることでも知られています。日本ハムの選手時代には、部屋は本であふれていたと話すのは、当時の監督である栗山英樹さん（WBC日本代表監督）。また、あるテレビ番組では、大谷選手が高校時代に読んだ本「スポーツの栄養学」「筋肉の科学」「富の福音（「鉄鋼王」A・カーネギー）」「運命を拓く（中村 天風 著）」が紹介されました。その4冊の本の中で特に目を引いたのが、「運命を拓く」です。その本の著者である中村天風は、明治時代の思想家で、京セラの創業者である稲盛和夫氏やパナソニック創業者の松下幸之助氏をはじめ多くの著名人に影響を与えた人物といわれています。その著者の本を大谷選手は、高校時代に既に読んでいたというのは驚きです。

2 中村天風（なかむら てんぷう）の教えについて

では、大谷選手が少なからず影響を受けたと言われる中村天風が唱える哲学とは何でしょうか。

本書を読んでみると「積極的」と「消極的」という言葉がよく出てきます。例えば「心が積極的方向に動くのと、消極的方向に動くのとでは、天地の相違がある。」とか「自分の心の持ち方さえ積極的であれば、その心の中にいただいた生命の力というものは逃げやしない。消極的になったら水を入れた桶に穴を開けたと同じようになってしまう。」などです。

中村天風は、積極的とは「喜びや希望や楽観」であり、消極的とは、「恐怖とか不安とか悲観」だと捉えています。そして、『人生は心一つの置きどころ』、消極的はいっさい自分た



ちの人生にはプラスの影響を及ぼさない。自分の心が積極的か消極的かでその表れてくる結果が積極か消極かになってしまう。心の持ちよう一つである。」というのが天風哲学のようです。

それでは「積極的」と「消極的」の違いを示す具体的な例をあげてみましょう。例えば1Lのビンにおいしいジュースが半分入っているとします。それを見たAさんは、半分しか入っていないと思ったとします。その時点でAさんは消極的な物事の考え方になり、常に不満と一緒に心持ちになってしまいます。一方、同じジュースを見てBさんは、まだ半分残っていると聞いたとします。Bさんは、ありがたいことだと丁寧に大事に飲んでいこうとする積極的な心持ちになります。

心の持ち方一つで【幸せコース】に行く人もいれば、【不平不満コース】に行く人もいて、入ってくるマイナスの事柄をプラスの見方に変えていこうというポジティブな感情が全てのものをコントロールし、積極の結果につながると天風の教えから学ぶことができます。

新年度がスタートして早1か月が経ちました。私たちのくらしの中に「中村天風」の教えを参考にできる場面があるのではないのでしょうか。



赤本 5冊寄贈 善意に感謝！



当学習室を利用してくれている高橋健太さん（現在、大学1年生）が、大学受験のために使用した赤本5冊を寄贈してくださいました。ありがとうございます。

みなさん、どうぞご活用ください！

新型コロナウイルス感染防止対策 ＝5/8からの当室の対応について＝

- ① マスク着用については個人の判断になります。
- ② 受付での検温にご協力ください。
- ③ 手指消毒のスタンドを出入り口付近に引き続き設置しています。ご利用ください。
- ④ 換気についてはCO₂濃度測定器で確認しながら随時行います。

